

## 令和2年度 第三回地域創生戦略会議企画委員会 議事要旨

日時：令和3年2月17日（水）16:00～18:00

場所：オンライン

### （委員）

今の福住エリアをはじめとして丹波篠山は非常にうまく行っていると感じた。実際に自分が住みたいと思うレベルである。しかし、10年の歳月の間にこれが出来たという「経過」を知ること、それを他の地域でも転用できるのではないかと思った。具体的な事例としての福住エリア及び丹波篠山市が変わってきた経緯を関係者に事業としてヒアリングしたい。その後に抽象化出来る内容については他の市町でも十分に転用できると考えている。

中心的な存在を担っていただいた方へのヒアリングや当時の様子の写真なども集めて要素を集めて地方創生の一つのモデルとして要素を抽出できると良いと感じた。

### （委員）

この場で報告書の内容を修正したいと思っていたが、話を聞いて事務作業はやめたほうが良いと思った。非常にいい話をお聞きできた。あの場になると一部分しか切り取っていない可能性があって、現場で苦労してきたことを汲み取れていない可能性がある。報告書に分かるような文面を入れたい。

### （委員）

提案書がすごくまとまっていて、いろいろな要素が入っていて、これなら自信を持てる感じがした。

あえて言うなら、一つは行政の提言書の場合、いろいろな要素が入ってくるべきで、あまり目玉のワードはつけないものかもしれないが、一言でいうなら みたいなことが企画書をよく書く人間としては思ってしまうところ。結論みたいなのか、要はこれだよみたいなことが一言で書いてあってもいいのかなと思った。

全国でも移住政策をやっている、すごい量の移住情報が溢れているので、見る人は相当特徴的でないと見ない。中身がいいところをフォーカスしていかないと中途半端なところにお金を注いでも効果はないと思っている。

福住の事例のように、結論は人が人に集まるということだと思っている。ハードや街に集まるのではない。そのエッセンスが提案書に入っているので、人が重要だというポイントだと思う。行政の一番の役割は、エリアが新しい人を入れたいという、初めに入るキーマンを入れこまないケースがあるので、初めに入る人、キーマンになる人を入れ込むのか、入っている人を応援するのか分からないが、何らかの形で見極めて、地域と新しい人をブリッジしてあげて、応援してあげる機能が個人的に重要と思っている。

建物を修復するとか、事業を興すのに対してお金が必要なので、金銭的な支援を見極めて行うことが一番重要で、あとはプロデューサーの人やそこに入った人が自由に事業をやってもらえばいいだけで、それ以外のことはそんなにいろいろしなくてもいいんじゃないかという気がしている。

三田のお試し居住については、お試し居住はすごく大事で、試住できる場所を作るべきだと思うが、行政がやるべきなのかはクエスション。本来は民泊がそういう役割を担うはずだったが、旅館業界からいろいろ反対されて、兵庫県の場合は民泊 NG みたいになってしまっている。風穴をあけるのは難しいかもしれないが、本来は財政支援なく、民泊のコンセプトは人の家に泊まって、人と交流して、そこに関係人口を作ろうというのがメイン。普通に機能すれば民間で勝手に流れていく。一つひとつを行政が支援していたら、大変な作業で、かなりお金もかかるので、もっと持続可能な仕組みを構築していくような体制を考えていくべきなのではないか。

### **(委員)**

人が重要だというところは、報告書にかなり込められていると思う。人がなかなかエリアに入れたいというところはもう一度読み直して、最初にキーマンを入れることが行政の役割ということが読み取れるものになっているかどうかチェックさせてほしい。

お試し居住は同じ思いをもっている。行政の役割はそんなにはないのではという気がしている。特に三田は新興住宅地でもあるので、福住とかなり状況が違う。

委員会は有識者の集まりなので、行政の方針に合わなくてもいいと思っている。他の委員から異論がなければ、お試し居住についてやるならもう少し考え直してやってもいいのではないかという文言にしてもいいと思っている。

### **(委員)**

福住の経験をこれから行政としてどうサポートしていくか、次の展開を踏ま

えたことを考えた方がいいと思った。具体的には、福住などの際立った事例を見たときに、水平展開できるのか、同じことを違うところでできるのか、やっていいのか。例えば、福住の隣の集落が福住のようなことをして、それは正しいことなのか。次の展開となると波及効果や拡大展開が必要。計画的に言えば、例えば、丹波篠山市内の市街地を地図で見たときに、福住のようなことができたなら、次のところは、遊ぶ、新しい仕事ができる、環境ができることから農村の価値が生まれてくるかもしれない。次の方が福住とは違うチャレンジができる情報を行政が正しく、オープンに伝えていくことが大事と思った。

行政の役割は次の展開として書いてもいい気がする。例えば、選ばれるための基礎情報のオープン化など、実際に考えてみるとすごく基礎的なことかもしれない。土地がどれだけ集約しているか、山林を使っていいのか、空き家がどれだけあるのかかもしれない。もしくは今まで議論されたように移住者を受け入れる意向があるかどうかという情報かもしれない。こんなことをしたいから来てねということに限らず、もう少し広く新しいアイデアを持った企画者が条件として、いろいろな情報にアクセスで出来ることが多様な地域や福住でないやり方で丹波篠山市街がおもしろくなっていくような方を読んでくるような次の展開かなという気がした。それをやると委員が提案したように、おもしろい人が来て、事業者がやりたいことをどんどんやっていけるということで、そこから先は規制せずに、提案もせずにまずはまかせてみるという環境ができる感じがした。

### **(委員)**

今の報告書には次の展開が書き切れていない。水平展開、横展開をやるのが正しいのかから考えていけないといけな。福住のケースは横展開してもいいのか分からない。そのことも根本的によく考えながら、横展開ができる部分も考えていかなければいけない。

できれば発言していただいた委員には現状の報告書に文言を入れていただきたい。全体のコーディネートは一任していただきたい。

### **(委員)**

ターゲティング、ペルソナのような受け入れたい人物像が書かれている。この表現に違和感を感じた。「受け入れたい」が上から目線の表現に聞こえると思った。いろいろな地域が移住者を求めているなかで、受け入れたいというよりも、こんな人に向いていますとか、ここにくるとこんなことができますというよう

な表現の方が移住者が場所を探しているなかで、自分のニーズにあったところを選ぶと思うので、表現を少し変えるといいのではないかと思った。

**(委員)**

この文面だけ読むと確かにそう読めるが、来ていただくことに関してはどんな人でも来ていただきたい。ただ、来ていただいたあとに嫌な思いをすることになるとおっしゃっていた。それは決して、誰にでも来てもらって、誰にでも住める状況ではないとおっしゃっていた。そういう意味で来ていただいて福住の良さを感じられたり、丹波篠山の魅力を感じることができて、満足した暮らしができる人たちのペルソナを明らかにしておかないと誰でも来てくれたら感じられる最高の里山だということではない。そういう意味での「受け入れたい」「来ていただいて幸せになっていただきたい」という人たちの人物像をペルソナとして設定しましょうというようなニュアンスだとはっきりおっしゃっていた。字面だけ見るとそう見えるが、決してそういう意図ではなかった。

**(委員)**

実際に我々が視察にも行って、こうした立場で読むとよく分かるが、深く読む方があまりいない。

**(委員)**

言葉でいうとマッチングというか、双方向の受け入れたい、入りたいという両方のニーズを合わせるということで、片一方の受け入れたいでは上から目線になるかもしれない。言葉で表現できる気はする。

**(委員)**

ターゲットとか広報とかから文章がスタートするべきなのかどうか。地域の本質論からスタートして、広報やターゲットの話がでてきた方が文章としては本質的に見えると思う。並びの問題なのかもしれない。

**(委員)**

広報をするのは誰なのかがよく分からない。行政と読み取ると上から目線に

なる。この部分の書き方は工夫したい。

### **(委員)**

受け入れたい人物像の感じたことの話をする。地域に住むというのは、就職先を探すことと同じなのではないかと思っていて、地域でも就職でも会社がいいかどうかは入ってみないと分からない。その人が入っていいかどうかは自分で作り上げることや努力も必要だと思う。その意味では、「受け入れたい人物像」なのか、企業では「求める人物像」とよく言っているが、求める人物像も上から目線かもしれないが。

先ほどマッチングという話もあったが、地域にとっていい人というよりもともに成長できる、要は地域もその人が来たらうれしいし、その人も幸せを感じ、充実した毎日を送ることができるということを書き込めばそこまで違和感がない。受け入れたいという言葉を変えるのも含めて、少し書き込んでマッチングが重要なことを加えていくことがいいのかと思っている。

先ほど就職と同じと言ったが、お試し移住の話があったが、企業も就職した社員をしっかりとフォローアップするシステムを持っている企業は離職率が低いということがあるが、いわゆる OJT ではないが、移住してきました、そのままほったらかしではなくて、しっかりフォローアップするようなシステムが重要ではないかと考えている。もちろん広報をして、就職のときに企業にいいことばかりを言い、もちろん入っていいこともネガティブなことも発信しながらも、来た人に関してはフォローアップしていくことも、重要ではないかと思う。がつつり書かなくてもいいのかもしれないが、少しそういった要素も加えていいのではないかと思った。

### **(委員)**

企業の求める人物像はヒントになるような気がした。人も地域も成長できるようにという話は他の委員と同じ話だった。成長したい人、成長できる人に来てもらいたいのが地域の思いだと思う。

フォローアップの話は非常に重要だと思う。フォローアップの大事さも追加で記入いただきたい。

### **(委員)**

今の段階か次のステップかわからないが、議論いただきたい点は、人が大事と

いう話もありましたし、地域のコーディネーターの必要性が指摘されるが、コーディネーターがどういう存在なのかを明確化する必要があると感じている。

地域に居住しつつ、働きつつ、全体をコーディネートされる方を指すのか、外部から支援するかたちでコーディネートする人なのか。大きなポイントはそこに住むか、住まないかの違いとしてあるが、その点における捉え方を明確にした方がいいと考えている。ちなみに、地域再生大作戦でも人材育成、人材養成が議論されており、そのなかでもアドバイザーの育成、あるいは地域リーダーの育成、地域おこし協力隊員の育成などいくつかのレベルがある。今後コーディネーターを考えたときにどういう人を対象とするのかというのが、ポイントになると思う。今の提案の段階では幅広に捉えられるように、さっくりと「コーディネーター」としておいてもいい。今の段階では幅広に捉えられるようにしておいてもいいのかもしれないが、皆さんのご意見をお伺いしたい。

#### **(委員)**

今の報告書やこれまでの議論では、コーディネーターの定義をしていない。現状は報告書ではコーディネーターの定義はせず書いていて、他の委員が言われたように住んでいる人なのかそこに住んでいる人なのか、外部から支援する人なのか全く分からない状態。

現状はこのままいくとして、議論はしなくてはいけないと認識している。

#### **(委員)**

報告書を読んで、自称コーディネーターなのか行政や地域から認められたコーディネーターなのか分からなかった。

コーディネーターは自分で言ってなれるものなのか。

#### **(委員)**

あくまで参考だが、地域再生大作戦の場合は、アドバイザーとして自薦または他薦で登録している。登録している人は50数名でいろいろな分野の方がいるが、実働で動いているのはせいぜい10人程度となっている。登録の要件は、一級建築士や技術士の資格や、大学でそういった分野を専攻していた、業務経験があるなど、それらとは別にヘリテージマネージャーや講座を一定時間受けた人が登録できる仕組みをとっている。今後のコーディネーターをどう位置づけるかはそういった前例をもとに考えていく必要がある。

### **(委員)**

直感的にはコーディネーターをやってくださいと言ってもできる人とできない人がいると思う。事後的になるものではないかという気もする。コーディネーターの資格があるわけではなく、資格があってもうまくコーディネートできるわけでもない。考える必要はある。

### **(委員)**

現場にいるので感覚値としては、例えば神戸市北区では、饅頭屋さんがまさしくコーディネーターの役割になっている。須磨区では豆腐屋さんやアーティストの方、北区で車屋さん、北新地では酒屋さんが街づくりをやっていたり、要は、BtoB の商売をやっている人は裏情報が入ってくる。飲食業が中心の街であれば、どこの酒屋が儲かっているなど、うまく情報を回して、街作りをしている。饅頭屋さんもいろいろな人から噂を聞いている。なので、リアルなビジネスのなかにあって、自分のところも地域貢献することがビジネスにつながる好循環がある。昔からおせっかいを焼く役割の人が街にいて、俺がやるよと言ってやってきている。そういう人を支援してあげることがかなり大事。つまり住んでいないと話にならないということが一つある。ただ、その横に都市計画コンサルの人や設計をやっているような実務のできるプロが必ず横にいたりして、それは外からの人がサポートする場合もあるし、地域内にいる人の場合もある。理想は地域内の人ができるベスト。外から来た人もしっかりコミットメントをしてくれる人ではないと少し仕事をして帰る人ではうまくはいかないので、コミットメント度合いが重要。

### **(委員)**

いろいろなかたちがあって、なかなか定義しにくい感覚を持った。報告書では、定義せず書いておいて、今後この委員会で「コーディネーターとは」を議論する場を作っていきたい。

### **(委員)**

提案書にコロナという言葉が一つも含まれていないのが特徴的だと思った。いいか悪いかは別にして、どれくらいの時間のスパンやより長期的な話として

見ているのかそのスタンスを冒頭にでも書いてあげればいい。

このタイミングでいうと、例えば私は福住で事を興す能力もなく、ターゲットの対象に含まれていると思うが、いわゆるリモートワークをして地域に住みたいという人について書いてはあるが薄い。地域の人も物語を見て、これはうちの地域ではないと受け取られてしまう懸念がある。

#### **(委員)**

新型コロナウイルスのことは書いていない。あくまで、中長期的なところで書かない、もしくは、コロナかをポジティブに捉えて書いていない。そこは冒頭のところで、書いてもよいという気がした。

リモートワークで地域に住みたいところが薄いことに関しては、ぜひ書いていただきたい。

#### **(委員)**

福住と三田だけがフォーカスされている。他の地域はどうしたらいいのだろうかが伝わりにくいと感じている。

例えば、「ただし、すべての地域で難しだろう」という指摘がある。選択と集中が必要であると。果たして、この提案書でここまで書く必要があるのか気になった。地域の人には自分のところに良さに気づいていないことがたくさんある。最初からそういうところは切るよというメッセージではなく、地域のコーディネーターのような方がやってみようかというようにならないのかと感じた。極端に言えば、なくてもいいかなという気がした。

#### **(委員)**

福住の横展開は今後慎重に議論しなければいけないと思っている。

行政に向けて書いているので、地域に向けて書いているものではないが、地域の人が見たときにどう思うか。地域の人からチャンスはないと思われるはず。

兵庫県の施策は、いろいろな地域でやりすぎていて、薄く広くになりすぎていて集中投下できていない。地域を限定してお金を投入した方が成果が上がるが、それがなかなかできていない。選択と集中は避けられないと思っている、成功したところから横展開をしていくことが必要。万遍なくやるとずっと全体的にダメになると思っている。それは避けなければいけないと思っている。

**(委員)**

選択と集中というよりは、頑張る人を応援するというようにならないか。今ある芽をしっかり育てることだと思う。もちろん全部はやってられないが、篠山であればムラクモ地区であったり、西紀であったりいろいろな活動がある。そういったところにもサポートというか、育てていけるようなかたちが表せるといいなと思った。

**(委員)**

兵庫県の財政が非常に厳しいので、事業を効果的なところに絞らないといけないと思っている。戦略会議に対する提案なので、住民に対するものではない。県民が受けたときにどう思うかというのは、確かに配慮すべきだ。

**(委員)**

付加価値を高める販売戦略、域外所得の獲得が重要とあるが、確かにそのとおりで、異論があるわけではないが、他地域も同じような戦略をとることを考えると、具体的に想像するのが難しいのかなという気がした。農産物加工品の付加価値を高めるところと五国の元気づくり交流拠点モデル支援はそれでいいのだろうかという気がした。現在の取り組みを記載しているので、そういった意味では適切かと思ったが、よく読むとよく分からないという感じを受けた。

**(委員)**

付加価値を高める販売戦略は、視察すると加工食品が重要と個人的に思っていて、現場におられる委員に聞きたい。地域外から外貨を稼ぐことが重要だと思っていて、そういうことができないと地域がなかなか自立できないと思っている。

**(委員)**

全体を通して物語という話がでてきていて、前に他の委員が言っていた話だが、DIYみたいな話で、自分で作ったからこそ愛着がわくとか、ただそこに切り売りされていて、現金と交換できるための品物を求めていることにみそがあ

る。なので一つの加工品はきっかけにすぎなくて、加工品を作っている人がどんな人なのかとか、それがすごく魅力だとか、おもしろい、例えば子供を連れて行って体験させてやりたいと思うくらいおもしろさがあるというのであれば、小さなトリップが始まると思う。そこにおもしろい人がいて、こんな仕事の仕方があるんだとか、例えば自分のお父さんはスーツを着たサラリーマンだけど、ここにいるお父さんと同じくらいのおじさんは、漬物を作って生計を立てているんだという社会見学だったりもする。子供にとって新しい付加価値が生まれる新しいツアーが企画できてくるみたいなかたちで、単に商品の一つとるのではなくて、そこに紐付いていろいろな商品が開発できるはずで、そういうもののバラエティがいっぱいある。作って、売って、その場所を見に来る、その循環が、例えば神戸の都市に住んでいる人が豊岡市に来て、漬物を作っているところを見に来る。灘五郷に行って、お酒を造っているところを見に来るというような一つの商品がお金に変わってかえってくるような一連に見れるのが物語というふうに書かれていると思っていて、それは商品の売買だけでなく旅行につながるし、短期移住かもしれない、拠点を移そうとお父さんやお母さんにもつながってくるかもしれない。すごく先の長い話をイメージしている。

### **(委員)**

人が重要と物語の重要性がキーワードになっていて、かなり強調されている。読み手がどこまでくみ取っていただけるかは、委員の意見をいただいて読み直してみたい。

### **(委員)**

移住施策で一番重要なのは仕事づくりだと思っている。仕事があればそこに移ると思っている。そういう意味でいうと、兵庫県で食べていくといういわゆるローカルビジネスで食べていく、農業から派生した漬物とか加工品もそう、それとツーリズム、ローカル建築屋さんとか建築業の雇用吸収力は大きいし、家はリノベーションして住んでいなければいけないし、そこに地元の建材を使う流れを作れば、経済効果はあると思っている。あとはものづくり、商品を作って海外に売ったりだとか、そういうパンチの効いた商品を作って販売していく人たち、この4業種と都会で働いていた人がリモートワークで先生をしながらとか、ウェブデザインの仕事をしたりだとか、コーディネーターの仕事をしたりだとか、ダブルワークをしながら仕事を組み立てるのが現実的かと思う。この仕事づくりというのは域外所得も含めて、重要なポイントだと思っている。

**(委員)**

農業、加工品、ツーリズム、ローカル建築は域内になってしまうが、リモートワークでは域外とのやりとりもできるし、ものづくりで海外に販売することもできるということだったので、具体的にもう少し書き加えて、具体性が欠けるといふ指摘をカバーしたい。

**(委員)**

社会的関係資本とあるが、一般的には社会関係資本と訳すことが多い。辞書を見ても、ソーシャルキャピタル、社会関係資本、人に注目するこの報告書のなかではすばらしい提案で、キー概念になると思うが、社会学では社会関係資本と言われることが多い。皆様のご意見をいただきたい。

**(委員)**

経済学でも社会関係資本を使う。

**(委員)**

ソーシャルキャピタルとも言う。

**(委員)**

直感的には社会関係資本はあまり日本語で言わない方がいいと思う。コーディネーターやアドバイザーなど割とカタカナが多いので、それに合わせるなら、コンシェルジュとかあるなら、ソーシャルキャピタルがあつていいのかなと思う。

**(委員)**

今の提案書はカタカナが多い気がした。カタカナ語は誤解を生むことがあり、分野によってニュアンスが違う場合もある。あまり多くなるのはどうだろうと思う。社会関係資本をソーシャルキャピタルというのはどちらでもいい。コンシェルジュであつたり、エリアプロダクトがどこまでを指すのかがもやもやする。

全体を通して、カタカナが整理できるのであれば日本語にさせていただくことがあってもいいかなと思う。

### (委員)

日本語とカナタナは全く考えていなかったの、他の審議会での使い方など事務局と相談して、わかりやすく修正したい。

社会的関係資本は、社会関係資本またはソーシャルキャピタルに修正したい。

### (委員)

6年前から福住で学生活動をやっている。提案書は納得いくところが多い。6年間で感じているのは、行った時にはすごく暗かった。空き家ばかりで、重要伝統的建造物群保存地区に指定されたけどどうしよう、どうしたらいいんだろうみたいな話があって、小学校の閉校も始まって、空き家で廃屋になっているのも残っていたりして、大変そうだと感じていた。

この数年で劇的に変わった感じがあって、まちの雰囲気デザイン力が上がったというか、具体的に何かきれいになっていったわけではないと思うが、コロナで中止になってしまったが、数年かけて廃屋を潰したりとか、駐車場を作ったりだとか、看板を新しくしてみたりだとかデザイン力を地域が高めたと感じる。もともと他府県で珈琲店をやっていたが、たまたま見つけた福住に惚れて来たとおっしゃっていた。そこが入り口になって、珈琲店に卸しているパン屋さん、ゲストハウスができたが、地域に来てみてすごくいいと思ったそうだ。

近年のいろいろな動きのなかで、地域の方にお世話になっているが、地域住民の方で入り口になっている方がおられるのがすごく強いと感じていて、もう一つは外から来て、移住をした人が企画をして地域の外のネットワークを引き入れてくれている。地域内ネットワークと外とのネットワークをつなげる人がそこに入ってくるころが近年の大きなきっかけになっていると思っている。いろいろな人が入ってくるきっかけというところで、住民の地域内のネットワークと地域外のネットワークをつないでくれる人の存在が非常に大きかったのだろうと思っている。

そのなかで、地域のデザイン性がぐっとあがっていくきっかけというのは、外から入ってこられた方の意見を地域が柔軟に受け入れてきたと私は外から見ている。

提案書に企画力が書かれているが、表現しにくい、デザインという部分、デザイン性というか、来てみていいなと感じられるような地域の雰囲気や景観な

ど相対的な意味でのデザイン性を、現代の若い人や若い家族層のセンスに合ってくるようなデザインに近づけていくような、そういったことができる人を育て、入れる、そういう取組を支援するというか、そういうのも必要だと感じた。

外からの収入を増やすために珈琲店という話があったが、福住が最近元気になったなど感じるきっかけにというのは、そういったお店等が入ってきたことで、外から立ち寄る人がすごく増えたと感じる。

その道では有名で、非常にたくさんの方が珈琲店に寄る。立ち寄る人が増えて、ご飯も食べたいだとか、そういうこともあって、一つのツーリズムの流れができてきているのかなという感じもする。

外のネットワークを引き入れるということと人を引きつけるようなビジネスやお店が入ってくるのが大きいと感じている。

#### **(委員)**

この地区に関わってこられたということで、6年前は暗かったというのは今の状況ではなかなか信じられない。そこから地域にいろいろな苦労があったということだと思う。そういうところが報告書に組み込めればいいなと思った。内と外のネットワークを作る人がいるというのは、非常に重要ななと思った。

今言われたことを報告書に組み込んでいただきたい。

#### **(委員)**

社会関係資本のところ、我々は一般的に使うかもしれないが、他の人がどうか分からないので、一般的には信頼と規範とネットワークで表現されることになっていて、信頼とネットワークについては、この報告書で相当細かく書かれていると思うが、規範のところがないかもしれない。上から目線でないかと言われているところは、こちらから依頼をしてこんなことをしてほしいというよりは、地域社会の規範を共通理解をして、一緒に成長していくとか、住み続けていただける方とともにというような表現をすると社会関係資本と繋がっていいのではないかという気がした。

戦略会議に報告するという話があり、行政の今後の参考にもということで、この提案の位置づけをはじめにの部分でもう少し詳しく書いてもいいのではないかという気がした。視察に行ったことをもとに提案しているということだが、まずなぜ視察に行ったのか、私の理解では、多自然地域には田舎っぽいのかな風景があって、ゆっくりされる方には最適ですよみたいな、こちらは言っていないがイメージだけが伝わってしまって、退職された方が余暇として来るというよ

うなところが、意図しない人が来てトラブルも多かったということがあるが、今はいろいろな働き方がいろいろな地域でできるようになってきて、しかもそういった事例が、特に福住はそうだが、見られてきて、そういったことを入り口にして、改めて一つの起点として、もう一度、移住定住の在り方を考えてみたいということをきちんと書いてもいいかなと、それで際立った事例を見に行つて、提案書を書いたということと言うと、二つの事例を見ただけで言っているわけではないということが、伝わるのではないかという気がした。

他の委員が言っていたが、地域創生の将来像というか、一つの拠点地域ができてみたい話ではなくて、分散型というか、都市部でも多自然地域でもそうだと思うが、いろいろな地域で内発的な発展というものがあって、同じものがいっぱいできるのではなくて、いろいろな多様性のもとで地域社会が再構築されていくというのがこの委員会でも社会でも大きく目指している方向の気がしている。そういったことを言うためにも一つひとつの際立った事例を明確にしなから、今後は周りのことを考えていくと、恐らくそういった議論がコーディネーターの像というか、集落や地区で際立ったものを支援していく地元の方やもう少し広い地域で補完し合いながら地域全体でもっとよくしていくエリアマネージャーやコーディネーターの像なんかも浮かびあげて、この提案書をもとにできるかなという気がした。はじめにを追記してはどうかという提案だ。

### **(委員)**

コロナのことが書かれていないというのも指摘があり、その書き方も工夫できばいいかなと。確かにはじめのところで、もう少しちゃんと書いた方がいい。委員に「はじめに」のバージョンアップをお願いします。

社会関係資本は伝わらないと報告書の意味がないので、しっかりした定義があれば脚注にしっかり書くなどしたい。